

事業名：災害から園児・児童・高齢者を守る「防災まちづくり」プロジェクト
 ～ハードの「防災まちづくり」と連携した避難行動マニュアルづくり～

実施団体：正親住民福祉協議会

目的：正親学区には正親小学校、せいしん幼児園があり、平日の日中、多くの園児・児童が学区内で生活しています。また、学区内には500人を超える75歳以上高齢者が暮らしており、多くの住民の方が学区外に働きに出ている平日の日中に大規模災害が起こった場合、地域が関係機関と連携しながら、園児・児童・高齢者の安否確認や救出救護活動を行う必要があります。



こうした状況を踏まえ、現在取り組んでいる「防災まちづくり」と連携を図りつつ、平日の日中に大規模災害が発生した場合を想定し、園児・児童・高齢者の避難や救出救護の方針、具体的な取組などを関係機関と協力して検討し、避難所運営マニュアルを改訂しました。

1. 平日日中の大規模災害時の具体的な取組の検討・実践（～すぐに引き渡しできない児童・園児、高齢者の安否確認・避難に関する対応について～）

取組1（～すぐに引き渡しできない児童・園児への対応～）

避難所に「こども班」を設置し、
 子どもの安全を確保します

▶ 避難所に「こども班」を設置し、引き渡しできない児童・園児は、PTAや民生児童委員会が学校・園と連携を図りながら、引き渡しできるまで子どもの安全を確保します。
 （学区や学校・園、PTA等から取組を説明し、大規模災害が起こった場合に、取組に協力をして頂けるよう保護者の方々にPR）

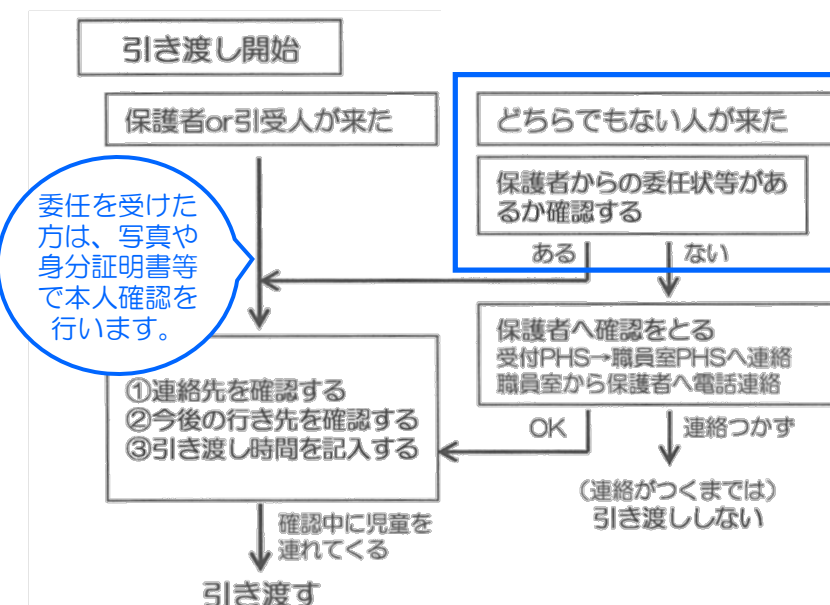
▶ 小学校3階の図書室を、引き渡しができない児童の居場所として活用します。

役割	担当	活動内容
代表者・副代表者	住民協議会（会長・副会長）	要配慮者への配慮、管理・運営の申合せ、施設管理者及び区・支所災害対策本部との調整・統括、避難所運営協議会の統括等
総務班	自主防災会	運営協議会内の連絡・調整、代表者会議の準備・記録、区・支所災害対策本部及び関係機関との連絡・要請窓口等
情報広報班	自主防災会	情報収集と総務班との連絡・調整、収集した情報の多様な手段での避難者等への提供等
管理班	PTA	避難者の把握・リストの作成、避難者等の入退所管理、訪問者の受付、マスコミ等部外者の出入管理、施設の警備、利用管理等
保健衛生班	保健委員会	感染症予防（手洗い・消毒の励行推進）、生活衛生環境の管理
救護・要配慮者班	体育振興会	傷病者への対応、要配慮者への対応、被災者の健康状態の確認
食料班	なでしこ会	食料・飲料水の配給、炊き出しの配給
物資班	交通安全会	救援物資・日用品物資の調達・管理、避難者への配給、在宅被災者への配給方法の掲示・配給
ボランティア班	民生児童委員会・老人福祉員	ボランティアニーズの把握・受付、ボランティアの要請、ボランティアの配置・調整
こども班	PTA、民生児童委員会、小学校、幼児園	子どもの心のケアにも配慮しながら、保護者世帯等が引き渡しに来られるまで、引き渡しができない子どもの安全を確保

取組2（～すぐに引き渡しできない児童・園児への対応～）

事前に親世帯から委任を受けた方が
 子どもを保護できるようにします

▶ 年度初めに、保護者が引き渡しカード（災害時用）に記入して届け出る形を基本として、親世帯から委任を受けた方が引き渡しできない子どもを保護する仕組みをつくりまします。
 ※委任する方は、あくまでも親世帯の意向・申請を基本とします。
 ※引き渡しの基本は親世帯であり、災害発生後6時間経過後など、一定時間を経過しても引き渡しできない子どもを対象とします。



取組3（～高齢者の安否確認・避難に関する対応～）

町内会で大規模災害時における
 安否確認の希望者を把握します

▶ 毎年度、敬老会の際に町内会単位で把握する75歳以上の高齢者について、調査に合わせて大規模災害時における安否確認の希望を把握し、町内会で共有します。

※町内会で共有した情報は、避難所での確認用に住民福祉協議会に提出して頂きます。
 ※個人情報保護の観点から、原則、公開しませんが、生命や財産に危険が生じる場合は公開します。

大きな揺れを感じたら・・・

- 1 自身の安全を確保しましょう
 - 火元（ストーブ・ガスレンジなど）の安全確認
 - 避難するときのために出口を確保
 - ラジオなどで正確な災害情報を収集
 - 家族の安否を確認
- 2 「地域の集合場所」に集まりましょう
 - 非常持ち出し品のチェック
 - 避難路（自宅～集合場所）の確認
 - ガスの元栓、電気ブレーカーを閉める
 - 家の戸締りや非常持ち出しリュックの持参
 - 隣近所（特に要援護者）の安否確認
 - 歩きやすい運動靴で避難
- 3 「正親小学校」（避難所）に避難しましょう

各町の避難者数や被害状況を本部（自主防災会）に報告してください。学区全体の状況を把握し、今後の救助計画を検討します。

町内会で事前に把握している大規模災害時における安否確認希望者について、町内会長や防災部長、元気な方々で安否確認や救出・救護を行います。

正親学区 避難所運営マニュアルを改訂しました！（夜間安否確認訓練、正親小学校やせいしん幼児園における引き渡し訓練などにも取り組んでいます！）

2. 平日日中の災害対策に繋がる具体的な取組の実践（～防災まちづくりシンポジウム、災害時の避難経路や路地の愛称等を学ぶミッションX～）

正親小学校 150 周年記念『防災まちづくりシンポジウム』～みんなで災害に強いまちを考えよう！～ を開催しました！ (11/10)

防災〇×クイズに挑戦！

- ①家にいる時に地震が起こった場合、揺れがおさまるまで家から出ないほうがよい。○か？×か
(正解：○ 余震があるかもしれないから安全になるまえ家にいましょう。)
- ②「非常用持出し袋」は、急いで食料を入れられるように台所においておくのがよい。○か？×か？
(正解：× 玄関などすぐに持ち出せる場所に置きましょう。)
- ③地震が起こった時、最初に集まる場所は「正親小学校」である。○か？×か？
(正解：× 町内会ごとに「地域の集合場所」に集まりましょう。)
- ④正親学区内にある路地（幅が4m未満の道）は、100本以上ある。○か？×か？
(正解：× 正親学区内にある路地は約70本です。)

新川先生（同志社大学）の講演のポイント

- ◆ 災害に強いまちを目指した正親学区の取り組み：ハードとソフト
- ◆ 日本は災害が発生しやすい災害大国
- ◆ 様々な災害に出合う危険があり、まちの暮らしは災害と隣り合わせ
- ◆ 災害を防ぐためにみんな努力しています
- ◆ それでは災害に強いまちの条件とは何でしょうか？
- ◆ 防災は一人ひとりから：自助の大切さ
- ◆ まちの役割：自助と共助を強化すること。自助と共助の力を高めるために必要なこと
- ◆ これからの学区の防災活動の課題は？問題をどんなにして解決していけばよい？
- ◆ 防災の基本的な考え方を覚えておきましょう：災害時の危機管理（避ける）方法

日本は世界でもっとも災害が発生しやすい国の一つ。京都にも地震はやってきます！

正親小学校 150 周年記念 第3部

防災まちづくりシンポジウム

正親小学校のみんなあつまれ！

みんなで災害に強いまちを考えよう！
おうちの方も一緒にご参加ください。

正親学区では、災害に強いまちを目指して、平成27年度から「防災まちづくり」に取り組み、袋地の緊急避難扉の設置などの対策を進めるとともに、平成29年度には「防災まちづくり計画」を策定しました。平成30年度には、「防災まちづくり計画」に基づき、防災まちづくり学習に取り組み小学生や町内会とともに、路地の愛称を考え、路地銘板を設置しました。
また、ソフト対策として、平成29年度から、平日日中災害への対応について、小学校や幼稚園、区役所、社協、専門家等とともに、避難所における子ども班の設置などの仕組みづくりに取り組んでいます。
こうしたこれまでの取組を背景として、正親小学校150周年を迎えた今、子どもから高齢者まで住民みんなで「防災」について考え、ハード・ソフト両面から災害に強いまちの実現を目指します。

令和元年
11月10日 14時～

◆ 会場 正親小学校体育館
◆ 講師 にかわ たつろう
新川 達郎 先生
同志社大学大学院総合政策科学研究科教授・政策学部教授

お問合わせ】
正親住民福祉協議会（担当：尾崎）

入場無料
キャンドルライトの
前に開催します！

上京区民まちづくり活動支援事業
正親学区 災害から児童・児童、高齢者を守る「防災まちづくり」プロジェクト
国土交通省 令和元年度空き家対策の担い手強化・連携モデル事業

子どもや保護者のみなさんが一緒になって考えました！



難しい内容もありましたが、子どもたちも真剣に聞いていました！



みんなで、ライトアップにも取り組みました！

ミッションX「正親 子ども防災マスターに挑戦」～路地を巡って謎解きだ～ を行いました！ (1/19)

小学校、PTA、学区が協力して、子どもたちの学習を支えました！



「防災まちづくり」で設置した袋地の緊急避難扉を学習しました！



昨年度に取り組んだ路地の愛称や銘板を確認しました！



上京消防署の協力のもと、AEDの使い方を体験しました！



成果：今年度は、平日日中の大規模災害時に地域ができる取組を継続して検討し、実践を重ねるとともに、子どもたちの「防災まちづくり学習」にも取り組んできました。
(豊) 今後も、「防災まちづくり計画」に基づき、安心・安全に住み続けられる災害につよいまちを目指して「防災まちづくり」を継続していきます。